

第 42 期第 2 回理事会議事録

日 時：2022 年 6 月 10 日（金） 13 時 00 分～17 時 30 分

会 場：日本気象学会事務室（Web 会議方式）

出席理事：佐藤薫，橋田俊彦，青柳暁典，池上雅明，稲津將，齋藤篤思，佐藤正樹，高谷康太郎，竹村俊彦，中村尚，橋本明弘，堀之内武，以上 12 名（理事数現在 20 名）

出席監事：鈴木靖，吉田聡，以上 2 名

その他の出席者：勝山税，齋藤誠一郎，山田眞吾（事務局）

議 題

1. 協議事項

1) 会員の新規加入等について

新入会員 74，退会 49 を全会一致で承認した。2022 年 5 月 31 日現在，会員数 3,283 名で個人会員は 3,089 名。

2) 第 42 期第 1 回理事会議事録の確認

議事録案について，軽微な修正の後，全会一致で承認した。

3) 計算科学研究連絡会の設置について

気象・気候分野の科学的課題を解決するための計算科学に関する最新の知見を共有するとともに，気象・気候分野と計算科学を用いる関連他分野間の橋渡しを担う「計算科学研究連絡会」の設置申請があり，全会一致で承認した。

2. 報告事項

1) 社員総会

① 2022 年度社員総会議事録の確認

議事録案について，全会一致で承認した。

② 総会参加票で頂いた意見について

参加票の議案等に対する会員からの意見とその回答の会員サイトへの掲載内容が確認された。

2) 業務執行理事の報告

① 庶務担当執行理事・・・以下の内容が報告された。

・掲載許可

1) 申請者：国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門地球観測研究センター 川崎春夫

転載元：気象集誌（JMSJ）2019～2021 年に刊行されたものの内 30 編

転載先：GPM 研究成果に関してまとめた気象集誌の論文を JAXA EORC 発行の「GPM 特別冊子」に掲載

- 2) 申請者：株式会社 KADOKAWA 出版事業部 川田央恵
転載元：掲載誌：天気（2017年）64巻、19から36ページ
著者：荒木健太郎、村上正隆、加藤輝之、田尻拓也
タイトル：地上マイクロ波放射計を用いた夏季中部山地における対流雲の発生環境場の解析
掲載図：Fig.2c、Fig.9d
転載先：
図書名：すごすぎる天気の本（令和4年4月28日発売）
著者：荒木健太郎 発行元：株式会社 KADOKAWA
- ・後援名義等使用依頼受付
- 1) 名称：第36回数値流体力学シンポジウム
主催：日本流体力学会
期日：2022年12月14～16日
会場：オンライン開催
名義：協賛
- 2) 名称：No.22-44 講習会 CFDの基礎とノウハウ
主催：一般社団法人 日本機械学会
期日：2022年6月21日
場所：オンライン開催
名義：協賛
- 3) 名称：No.22-30 第35回計算力学講演会（CMD2022）
主催：一般社団法人 日本機械学会
期日：2022年11月16日(水)～18日(金)
場所：オンライン
名義：協賛
- 4) 名称：JSEC2022(第20回 高校生・高専生科学技術チャレンジ)
主催：朝日新聞社、テレビ朝日
期日：2022年12月11日表彰式
名義：後援
- 5) 名称：第7回北極研究シンポジウム（ISAR-7）
主催：国際環境研究コンソーシアム（JCAR）、
情報・システム研究機構国立極地研究所
期日：2023年3月6日(月)～10日(金)
場所：国立極地研究所およびその周辺施設
名義：後援
- 6) 名称：第40回レーザセンシングシンポジウム

主催：レーザセンシング学会

期日：2022年9月1日(木)～2日(金)

場所：福山大学社会連携推進センター(オンライン開催の可能性あり)

名義：協賛

・寄附者リスト (2022.3.24～2022.6.09)

岩崎俊樹 100,000円 (一般寄附)

② 会計担当執行理事・・・以下の内容が報告された。

・2021年4月, 5月, 6月分の収支及び現預金検査報告。

・流動資金(運転資金)の月ごとの推移。

・気象学史研究連絡会からの補助金申請

第11回気象学史研究会(2022年5月19日, オンライン開催) Zoom 利用料について, 全会一致で承認した。

3) 委員会報告

講演企画・・・以下の内容が報告された。

・2022年度春季大会 参加者数約550名(例年約700名)で講演数も減った。要因分析は事後アンケートで検討する。海洋学会も減っており, オンラインに魅力が減っている可能性がある。

・2022年度秋季大会 イベントペイのクレジットカード決済再開は7月中の予定で講演申込締め切りには間に合わないため, 決済サービスをもう一つ予備で持つべきとの意見があった。オンラインポスターはzoomで午前中に行う。口頭発表のオンライン中継は行わない。

・補助金申請。2022年度春季大会で, 希望者によるポスター発表や参加者同士の交流, 若手会, 中手会, 女性会員の集い, ジュニアセッション参加者交流等に使用するオンライン交流ツール利用料について, 全会一致で承認した。

天気編集・・・以下の内容が報告された。

・Vol. 69 No. 5, 6, 7 (2022年5, 6, 7月)の掲載記事と, Vol. 69 No. 8, 9 (2022年8, 9月)の予定記事。

・掲載料免除申請1件。全会一致で承認した。

・用紙価格修正について。

気象集誌編集・・・以下の内容が報告された。

・Vol. 100 No. 3 (2022年6月)の掲載論文と, Vol. 100 No. 4 (2022年8月)の掲載予定論文。審査中の論文リスト。

・今年度は科研費申請をSOLAと協力して行う。

・特別号は2018年台風。

・秋季大会で英文学術出版に関する専門分科会を予定。

SOLA 編集・・・以下の内容が報告された.

- ・論文の投稿・公開状況
- ・2022年3~4月の掲載論文：12編

気象研究ノート編集・・・以下の内容が報告された.

- ・245号、刊行予定

表彰関連・・・以下の内容が報告された.

- ・藤原賞：各賞のありかたWGの検討を受けた理事会の決定により、次から秋季大会での贈呈となる。来年3月締め切り。
- ・正野賞：選定済で原案作成中、次回理事会で選定する。来年度の正野賞については藤原賞と入れ替えて春季大会での贈呈となる。「天気」での周知を急ぐ必要がある。
- ・2022年度小倉奨励賞受賞候補者については推薦無し。
- ・2022年度春季大会の松野賞候補者の選定結果。アクリル盾の評判よい。松野賞と大会のエントリーが学生にとっては2度手間なので、今後改善を検討する。

学術・・・以下の内容が報告された.

- ・今期の活動について検討中。
- ・放射能汚染に関する対策部会、地球衛星観測部会、航空機観測に関する検討部会、データ利用部会について、活動の推進、委員長の留任を依頼し了承を得た。
- ・日本学術会議では、「マスタープラン」を策定せず、「未来の学術振興構想（仮称）」を策定することになった。提案公募は12月頃締め切りの予定。学協会長も提案者になり得る。

地球環境問題・・・以下の内容が報告された.

- ・委員選出完了。特定の女性研究者に仕事が集中する問題がある。今期は一般向けの科学的理解のために標準的な信頼度の高い教材を作りたい。

気象災害・・・以下の内容が報告された.

- ・「この夏の天候と気象災害への対応」をテーマに、委員や関係機関からの話題提供と質疑、災害への対応について情報交換会を行う予定。天気編集委員会、教育と普及委員会からも参加。
- ・第4回「防災に関する日本学術会議・学協会・府省庁の連絡会」（8月2日予定）防災学術連携体が学協会の窓口となって2017年から開催しており、今回は「自然災害を取り巻く環境の変化と防災政策～出現した多様な危機への備え～」。盛土（土砂災害）、豪雨、巨大地震、デジタル技術活用など防災対策に関連して、府省庁側と学協会側から、それぞれ話題提供（気象学会からは橋田気象災害委員長が「地球温暖化と気象の変化」の話題提供）。

教育と普及・・・以下の内容が報告された.

- ・委員会開催予定6/23、予報士会との連携が重要。

国際学術交流・・・以下の内容が報告された。

- ・小倉レクチャーは来年秋季大会（仙台）の予定。

電子情報・・・以下の内容が報告された。

- ・会員サイトの利用規約及びプライバシーポリシーの制定について提案があり、電子情報委員会の他、理事長、副理事長、事務局長一任で決める事で承認された。
- ・夏季大学の参加費収納に向けて、電子収納サービスの契約準備を行なった。

人材育成・男女共同参画委員会・・・以下の内容が報告された。

- ・退任した委員の後任を一部選出
- ・今後、所掌について他委員会との調整が必要となる可能性があるので、適宜議論したい。

4) 理事長報告

JPGU は地球惑星科学全体で議論する場であり、50 の関連学会が 5 つのセクションに分かれている。この度理事の改選があり、新理事が決まった。今後、JpGU での発言力を高めるためにより多くの気象学会関係者を入れる必要がある。また、大気水圏科学セクションについても、バイスプレジデントが決まり、新しい体制が開始した。

3. ブレーンストーミング

気象学会が今後どのような方向に向かうことがベストかを考えるため、毎回テーマを決めてブレーンストーミングを行う提案が理事長よりなされた。今回は「天気」のあり方について議論した。

4. その他

第 41 期第 15 回理事会資料「日本気象学会の各賞のあり方検討を踏まえた日本気象学会細則等の一部改正について（協議）」の一部差し替えについて、全会一致で承認した。

以上について、議事録を作成し、理事長および監事が記名押印する。

2022 年 7 月 27 日

公益社団法人日本気象学会

理事長 佐藤 薫

監事 鈴木 靖

監事 吉田 聡